

2000年4月1日～2024年9月30日の期間に「造血器腫瘍の発症と進展および治療反応制御機構の研究（承認番号：M2000-213 および M2017-002）」にご参加いただいた患者さんとそのご家族へご協力をお願い

- **背景について**

当科の研究「造血器腫瘍の発症と進展および治療反応制御機構の研究」にご参加頂いた患者さんとそのご家族の皆様、ご厚意に改めて御礼申し上げます。この研究は、皆様から採取させて頂いた血液、骨髄、リンパ節、体腔液などに存在する造血器腫瘍（血液がん）の細胞や、腫瘍に関連した働きをもつ正常細胞（免疫細胞）を詳細に解析することを通じて、血液がんの新たな診断、予後予測、治療介入などの方法の開発を目指すものです。

本研究においては、皆様から提供頂いた臨床検体を直接用いて、あるいは臨床検体から新たに樹立した細胞株を利用して、詳細な解析を行いその研究成果について発表しています。

今回のお知らせは、血液がんのより詳細な解析研究を推進するために、これらの試料（細胞株を含む）や関連した情報を、特定の研究での使用を目的として、海外の医療機関・研究機関（他施設）に提供することについて皆様にご説明し、ご協力をお願いするものです。

研究での使用を目的として採取された臨床検体や、それに由来する培養細胞・細胞株は『既存試料』に該当します。既存試料や関連情報等を他施設へ供与するにあたって、今回のような形で利用について広く公開し、皆様からのご意見・お考えを頂戴する機会を設けましたので、既存試料や関連情報等を今後研究目的に使用、または他施設に提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

- **本研究とこのお知らせの対象となる患者さん**

2000年4月1日～2024年9月30日の間に、「造血器腫瘍の発症と進展および治療反応性制御機構の研究（審査番号 M2000-213 および M2017-002）」への参加と検体の保存に同意頂いた患者さんがその対象になります。

- **細胞株について、既存試料として細胞株を提供する目的について**

本研究では、提供して頂いた臨床検体を用いた解析研究方法の一環として、人工的な環境で血液がん細胞の培養を長期継続し、細胞株を樹立する試みを行っています。細胞株とは、不死化して無限に増殖することができるようになった培養細胞のことを指します。多くの場合、樹立された細胞株は、元になった血液がんの性質や特徴を色濃く保持しているため、これを研究に利用することで、その血液がんの特徴や治療反応性についての検討を、高い再現性をもって繰り返し行うことができます。細胞株を用いた血液がんの研究は、国内外の研究機関で広く行われています。特にまれな疾患や、病態に関わる重要な異常を持った細胞株は、多くの研究機関で解析結果や研究成果を共有することで、大きな力を発揮する可能性があります。

今回の細胞株（既存試料）とその関連情報の提供は、国外の他施設において、本学および共同研究機関で行うことが困難な、より先進的な解析研究を推進し、ひいては血液がんの詳細な病態や新規治療法の開発につなげ、世界規模で血液がん研究の発展に貢献することをその目的としています。

- **今回の提供の対象となる国、研究機関とその研究方法について**

提供先の国名と研究機関：台湾、National Health Research Institute

提供する既存試料の種類と疾患名：

試料の種類：胸水から抽出した血液がん細胞（細胞株を含む）

疾患名：悪性リンパ腫

提供する研究名とその概要：難治性びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫（DLBCL）のバイオマーカーと治

療標的の探索。特に MYD88 変異や CD79 変異を有する病型（活性化 B 細胞様 DLBCL）において IRAK4 と BTK を同時に標的とする治療介入方法に関する探索的研究。

提供の方法：液体窒素などを用いて超低温に凍結保存した状態で、対象となる研究機関の所在地や利用可能なサービスに応じて、適切な方法で輸送されます。

該当する既存試料を提供下さった患者さんの疾患名や臨床情報に関して、また試料（細胞株を含む）の取り扱い方法や本学で得た解析結果の一部等について、提供先の研究の遂行に必要な範囲で提供を行いますが、その患者さんの氏名等の個人を特定されるような情報をこちらから提供することは一切ありません。

- **個人情報の取り扱いについて**

患者さんの個人情報は本学にて、無関係の研究番号を割り付けて取り扱っています。対応表は本学の当科研究室で管理し、原簿として鍵のかかった部屋に厳重に保管しています。既存試料・関連情報を海外の他施設へ供与するに当たっては、上記したように、その試料が由来する患者さんの氏名等の個人を特定されるような情報を私たちから提供することは一切ございません。

今回提供を予定している研究機関は中華民国（台湾）に所在しています。中華民国（台湾）内での個人情報の取り扱いとその法令については以下のリンクをご参照ください。

https://www.ppc.go.jp/files/pdf/taiwan_report.pdf

- **既存試料・関連情報の提供予定日について**

2024 年 12 月 1 日以降を予定しています。

- **希望されないあるいはご質問がある患者さんへ**

今回の提供について、ご協力いただけるかどうかは患者さんおよびご家族の皆様の自由であり、その意思に基いて行うことができます。ご自身の既存試料（臨床検体およびこれに由来する細胞株）・関連情報を、上記した研究機関に提供することを希望されない場合、2024 年 11 月 30 日までに管理責任者まで遠慮なく申し出て下さい。ご希望されない場合でも、これからの診療に差し支えることはありません。また、研究に関するご質問がある場合には、下記の問い合わせ先へご連絡ください。2024 年 11 月 3 日以降も申し出て頂くことは可能ですが、申し出以前に供与した検体の供与については希望に添えないことがあります。

- **今回と別の研究目的での提供の可能性について**

今回提供を予定している他施設とは別の研究機関から、同じ種類の既存試料・関連情報の提供の依頼があった場合は、その提供を計画する時点で改めてこのように告知を致します。

当院における問い合わせ先

既存試料・関連情報の管理責任者：長尾 俊景

東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 血液内科学分野

連絡先

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45 M&D タワー14F 血液内科医局

TEL 03-5803-5211（ダイヤル） （対応可能時間帯 平日 9:00-17:00）